



■JVあいさつ（工事現況）

平素より地域の皆様には大変お世話になっております。
今年も『あっ！』と言う間に約半年が過ぎ、ジメジメとする梅雨のシーズンを迎える頃となりました。
この時期には洗濯物も安心して外に干せず、天気予報と睨めっこする機会が多いのではないのでしょうか。
我々建設業は、外で仕事をするため、天気予報にはいつも敏感になりアンテナを張り巡らしています。当現場では、一度まとまった雨が降るとダムの直下流(写真②)へ行く工事用道路は水没してしまい、車での進入が不可能になります……。そうすると、ダムの山際にある階段を下りて行くわけですが『行きは良い良い、帰りは……』、直高約60m(マンション約20階)を階段で上る事になり、息も絶え絶え足はプルプル筋肉痛まっしぐらです。

さて現場の方ですが、去年の10月から取り掛かっていた減勢工においては、右岸側3ブロックの導流壁が完成しました。残りのブロックは出水期後の10月より再開します。堤体下流面では引き続きコンクリートの取壊し作業も行っています。

ダム天端では引き続き100tクレーンが作業していますが、通行車両の安全を最優先に作業を行って参りますので、引き続き、地域の皆様のご理解をいただきますよう、よろしくお願い致します。

■浜田ダム再開発工事現況

① 堤体上流側 平成29年4月



平成29年6月



鋼製扉体(仮設締切り)の設置を完了しました。

② 堤体下流側 平成29年4月



平成29年6月



右岸導流壁の3ブロックが完成しました。

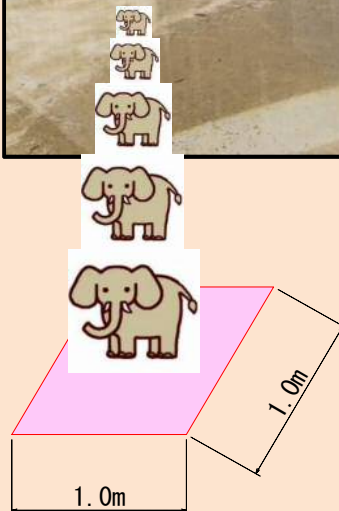
■工事トピックス

超高強度繊維補強コンクリート 『UFCパネル』

減勢工に於いて、常に流水があたり壁のすりへり劣化が予測される所には、通常のコンクリートよりも強度が高く、高耐久なUFCパネルを設置しました。このパネルは、導流壁で使用しているコンクリートの約7.5倍の強度があります。

超高強度繊維補強とありますが、パネルの中には特殊工繊維が練混ぜてあり、これが高強度へ繋がるアイテムとなっています。

特殊鋼繊維



このUFCパネルの強度は
1m×1mの中で約20000tの
重量に耐える事が出来ます。

アフリカ象 1頭約9tが2220頭
乗る事が可能です!!



『右岸側 導流壁 3ブロック完成』

冒頭で記載しましたが、右岸側の導流壁3ブロックが完成しました。

去年の10月より掘削工事に取り掛かり、2月からコンクリートの打設工事を開始、そして5月20日に高さ18mのコンクリート打設完了に至りました。

工事期間中は生コン車両等の運行により、狭い道路での離合等ご迷惑をおかけしました。今後も運行ルールを遵守し細心の注意を払って作業を進めたいと思いますので、ご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

平成28年10月



平成29年5月



発行・お問い合わせ先

鹿島・フクダ・祥洋特別共同企業体 浜田ダム再開発工事事務所 HPアドレス <http://renew-hamadadam.jp/>

〒697-0011 浜田市後野町2246-31

TEL.0855-25-5356 FAX.0855-25-0077